

Lasius fuliginosus

(Latreille, 1798)

クロクサアリ

つやのある黒色で、甘いにおいのするカートン巣を築き、他のアリの働きアリを借りなければコロニーを始められません。



写真： Philipp Hoenle (myrmecophil), CC0 1.0

ひと目でわかる情報



巣の温度
20–26 °C
巣の中



巣の湿度
50–70 %
巣の中



休眠
5–8 °C
10月–3月



結婚飛行
5月–7月



働きアリ
4–6 mm
どれも同じ大きさ



女王
6–6.5 mm
女王は1匹



コロニーの規模
まだデータがありません
成長速度：速い



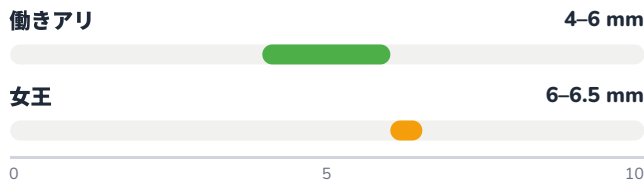
脱走リスク
高い
脱走の名人です。密閉したアウトワールドと、しっかりした脱走防止の対策を用意しましょう

1年をひと目で



月は温帯ヨーロッパと地中海地域の目安です。正確な日は天気で決まるため、お住まいの地域では飛行が早まったり遅れたりすることがあります。

同じ縮尺での大きさ



飼育の早見表

食べ物

砂糖

昆虫

おすすめの巣

- Ytongの巣
- 木製の巣
- 試験管セットアップ

この評価の理由

- ⚠ 本格的な脱走の名人で、脱走を完全に防げるセットアップが必要です
- ⚠ 社会寄生：コロニーを始めるには宿主の働きアリが必要です
- ⚠ 冷蔵庫などでの低温の休眠が必要です

飼育者からのメモ

ヒント

ほとんどの飼育者は、他種の働きアリに女王アリを受け入れてもらう方法で始めます。飛行のあとすぐに、若いLasiusの働きアリの集団とたくさんの菌と一緒にしましょう。自然な宿主は、女王アリのいないLasius umbratusのコロニーです。飼育下では、Lasius nigerの働きアリと菌でもうまくいった例がありますが、nigerの働きアリは、女王アリの最初の菌を開けるのが苦手です。その菌の中の若い働きアリが外に出るには、菌を開けてもらう必要があります。

注意

糖分もタンパク質も大量に欲しがります。薄めたはちみつと新鮮な水をいつでも用意し、ブルードにはたっぷり与えましょう。幼虫がたくさんいるコロニーは、はちみつをすぐに空にし、毎日昆虫を食べます。